

**2008 年度情報セキュリティセミナー(基礎・マネジメントコース)**  
 ～情報化社会における企業の情報セキュリティ対策について～  
 経済産業省・(独) 情報処理推進機構 (IPA) ・日本商工会議所と共同で開催 !!

今日、産業や政府活動、国民生活の多くがコンピュータやコンピュータネットワークに依存し、IT は企業の競争力を高めるために必要不可欠な要素となっています。他方、企業や官公庁からの情報漏えい、パソコンの紛失や盗難などの事件が相次いで起きています。

このような状況はもはや他人事ではなく、事件に見舞われた時には、顧客に重大な損害を与え、自社に不利益をもたらすだけでなく、社会的責任を問われ、企業としての信用・信頼を失ってしまう恐れがあります。

情報システム上で金銭や個人情報などを狙う手法、コンピュータウイルス、スパイウェアなどの不正なプログラムは常に新たなものが生まれています。事業者は事件・事故を未然に防ぐために日々最新の情報入手し、技術的な対策や社内における人的管理、組織的管理や教育などの対策を講じる必要があります。

このような状況を踏まえ、(株)和歌山リサーチラボでは、経済産業省、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)、日本商工会議所と共同で、情報セキュリティ対策の専門家である IPA セキュリティセンターの研究員を講師に迎え、企業や組織において情報セキュリティ対策を実施する、セキュリティ責任者・担当者、システム管理者、ウェブアプリケーション開発者、ウェブサイト運営者を主対象に、情報セキュリティの管理面・技術面からの対策に関するセミナーを開催します。

◆ 開催概要 ◆

日 時	基礎コース 1月23日(金) 10:00 ~12:00 マネジメントコース 1月23日(金) 13:00 ~16:30 ※コース概要は別紙を参照して下さい
会 場	(株)和歌山リサーチラボ 大会議室
講 師	独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) セキュリティセンター 研究員
主 催	(株)和歌山リサーチラボ、経済産業省、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)、日本商工会議所
共 催	(社)和歌山情報サービス産業協会、和歌山ITコーディネータ協議会、
参 加 費	無料
副 読 本	情報セキュリティ読本(定価¥500)、情報セキュリティ教本(定価¥2,500)をセミナー会場にて販売します。
募 集 人 数	基礎コース・マネジメントコース・技術コース標準編・技術コース専門編 各 60名 (募集人数に達し次第締め切ります。)
申 込 み	申込書に必要事項をご記入のうえ、E-mail、FAX、でお申込みください。 お申込み受付後、受講票を発行します。／お断りする場合以外は特にご連絡致しません。／・・・
そ の 他	本セミナーはITコーディネータ協会が後援するセミナーです。ITコーディネータ協会主催セミナーに準じ、4時間で1知識ポイントが年度間の上限なしで付与されます。ITコーディネータ(補)の方は、申込書に認定番号を記入して下さい。

お問合せ：(株)和歌山リサーチラボ 担当：事業部 西岡  
 〒642-0017

TEL：073-484-2000 FAX：073-483-6006 E-mail：nishioka@wrl.co.jp URL：http://www.wrl.co.jp

きりとり

FAX：073-483-6006

(株)和歌山リサーチラボ 担当 事業部 西岡 行

◆◆◆ 「2008 年度情報セキュリティセミナー」への参加を申込みます ◆◆◆

貴社名	フリガナ		
住 所	フリガナ 〒		
貴 名	フリガナ	所属・役職	
	フリガナ		
T E L		F A X	
E-mail		ITC(補)認定番号	
参加希望コース	<input type="checkbox"/> 基礎コース <input type="checkbox"/> マネジメントコース		

◆ コース概要 ◆

情報セキュリティ対策 基礎コース	
対象	企業における情報セキュリティ対策の基礎を理解したい方 (企業でパソコンを使って業務をする方、経営者・部門長、セキュリティ教育担当者)
ポイント	企業が直面する情報漏えいの脅威とその対策 (クライアントのセキュリティ)
内容	情報漏えいの原因となるコンピュータウイルス・スパイウェア・フィッシング詐欺等の脅威、被害事例、被害に遭わないために個人が行う対策について解説する。
目次	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報システム(IT)を取り巻く問題と課題</li> <li>2. ファイル交換ソフトを介した情報漏えい</li> <li>3. 企業(活動)にダメージを与えるウイルスおよび攻撃</li> <li>4. 管理ミス、誤操作、設定ミス</li> <li>5. 企業(組織)内で行うべき情報セキュリティ対策</li> <li>6. 情報取り扱い上の注意・情報漏えい対策</li> <li>7. まとめ</li> </ol>
情報セキュリティ対策 マネジメントコース	
対象	企業における管理面からの情報セキュリティ対策の基礎を理解したい方 (経営者・部門長、セキュリティ責任者、マネジメントの観点からの対策を担当するセキュリティ担当者、システム管理者、セキュリティ教育担当者)
ポイント	経営者や責任者として知っておくべき情報セキュリティ対策のポイントを解説
概要	経営者や責任者として理解すべき項目は何かと言う観点から情報セキュリティ対策のポイントを整理し、重点項目、標準項目、概要項目に分け、図解や事例を交え、分かりやすく解説する。
目次	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 背景と基礎知識</li> <li>2. 情報セキュリティ対策ベンチマーク(デモ)</li> <li>3. 情報セキュリティ推進体制</li> <li>4. 情報セキュリティ管理規定</li> <li>5. 情報資産の重要度分類と取扱い基準</li> <li>6. 重要情報の業務工程ごとの安全管理</li> <li>7. 外部委託先の管理と従業員の管理</li> <li>8. 物理的対策や外部記憶媒体の管理</li> <li>9. 事故対応と事業継続管理</li> <li>10. 法令順守</li> </ol>